

県内の景気動向

概況（2020年8月）

景気は、下げ止まりの動きがみられる

観光関連では、入域観光客数は前年を下回る

消費関連では、百貨店売上高は前年を下回る

8月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は県独自の緊急事態宣言発令による影響などで前年を下回り、スーパーは衣料品や住居関連は消費マインドの低下などにより減少したことから前年を下回った。耐久消費財では、新車販売は新型コロナウイルスの影響によりレンタカー需要が低下したことから前年を下回り、電気製品卸売は供給不足によりエアコンや洗濯機、AV商品などが減少したことから前年を下回った。

建設関連では、公共工事は県、市町村は増加したことから前年を上回った。建築着工床面積は居住用、非居住用ともに減少したことから前年を下回った。新設住宅着工戸数は持家、貸家、分譲は減少したことから前年を下回った。建設受注額は民間工事は減少したことから前年を下回った。

観光関連では、入域観光客数は前年を大幅に下回った。国内客、外国客ともに前年を下回った。主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。

総じてみると、観光関連は新型コロナウイルスの影響で悪化しているものの下げ止まりの動きがみられ、消費関連は消費税率引き上げの影響や新型コロナウイルスの影響で弱含んでいること、建設関連は民間工事に一服感がみられ弱含んでいることから、県内景気は下げ止まりの動きがみられる（3カ月連続）。

消費関連

百貨店売上高は、県独自の緊急事態宣言発令による影響などで、15カ月連続で前年を下回った。スーパー売上高は、食料品は生鮮食品が好調に推移するも、衣料品や住居関連は消費マインドの低下などにより減少したことから、既存店ベースは5カ月ぶりに前年を下回った。全店ベースは10カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、自家用車は改善するも、新型コロナウイルスの影響により、レンタカー需要が低下したことから、11カ月連続で前年を下回った。電気製品卸売販売額は、巣ごもり需要が堅調に推移していることから冷蔵庫が増加するも、供給不足によりエアコンや洗濯機、AV商品などが減少したことから、3カ月ぶりに前年を下回った。

先行きは、新型コロナウイルス感染再拡大の影響や、前年の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減などの影響で、食料品は一服感がみられ、衣料品や耐久消費財などが弱含むとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国、独立行政法人等・その他は減少したが、県、市町村は増加したことから、2カ月ぶりに前年を上回った。建築着工床面積（7月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから5カ月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数（7月）は、給与は増加したが、持家、貸家、分譲は減少したことから2カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事は増加したが、民間工事は減少したことから3カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメントは2カ月連続で前年を下回り、生コンは2カ月連続で前年を下回った。鋼材は単価の低下などから前年を下回り、木材は住宅関連工事向けの出荷減などから前年を下回った。

先行きは、手持ち工事額は引き続き高水準であるものの、民間工事に一服感がみられることから弱含むとみられる。

観光関連

入域観光客数は、8カ月連続で前年を下回った。国内客は約7割減少し、外国客は全減となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を下回った。主要観光施設入場者数は大幅な減少となった。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに前年を下回った。

先行きは、全世界に感染拡大している新型コロナウイルスの収束時期が不透明なため、外国客が動き出すのは年明け以降となろう。一方、国内に目を向けると東京都発着のGoToトラベルが10月にスタートするなど明るい材料もあるが、全国的に新型コロナウイルスの影響で安近短旅行が主流となっていることや修学旅行などのキャンセルが発生していることもあり、国内客は当面は前年を大幅に下回る推移が続くとみられる。

雇用関連

新規求人数（7月）は、前年同月比34.5%減となり8カ月連続で前年を下回った。宿泊業・飲食サービス業、サービス業、情報通信業などで減少した。有効求人倍率（季調値、7月）は0.67倍と、前月より0.01ポイント低下した。完全失業率（季調値、7月）は3.3%と、前月と同水準だった。

その他

消費者物価指数は、諸雑費、光熱・水道などの下落により、前年同月比0.4%減と6カ月連続で前年を下回った。

企業倒産は、件数が2件で前年同月を2件上回った。負債総額は1億8,200万円となり、前年同月比で全増となった。

りゅうぎん調査（2020年8月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2020.6－2020.8)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	▲ 42.7	▲ 33.7
(2) スーパー(既存店)(金額)	▲ 0.3	1.1
(3) スーパー(全店)(金額)	2.0	3.2
(4) 新車販売(台数)	▲ 14.9	▲ 22.8
(5) 電気製品卸売(金額)	▲ 12.4	▲ 0.4
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	0.3	2.0
(2) 建築着工床面積(m ²)	(7月) ▲ 49.3	(5-7月) ▲ 11.0
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(7月) ▲ 36.9	(5-7月) ▲ 23.4
(4) 建設受注額(金額)	P▲7.5	P145.3
(5) セメント(トン数)	▲ 7.6	▲ 3.3
(6) 生コン(m ³)	▲ 12.5	▲ 9.0
(7) 鋼材(金額)	P▲7.8	P▲9.4
(8) 木材(金額)	▲ 11.7	▲ 13.3
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	▲ 80.1	▲ 78.1
うち外国客数(人数)	▲ 100.0	▲ 100.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P▲58.9 (実数) P19.6	(前年同期差) P▲57.3 (実数) P19.3
(3) " 売上高(金額)	P▲77.9	P▲76.8
(4) 観光施設入場者数(人数)	P▲94.2	P▲84.4
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 17.6	▲ 3.7
(6) " 売上高(金額)	▲ 26.7	▲ 19.1
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(7月) ▲ 34.5	(5-7月) ▲ 34.1
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数、7月) 0.67	(実数、5-7月) 0.70
(3) 消費者物価指数(総合)	(7月) ▲ 0.4	(5-7月) ▲ 0.3
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 2	(前年同期差) ▲ 1
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(7月) ▲ 22.7	(5-7月) ▲ 24.8

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

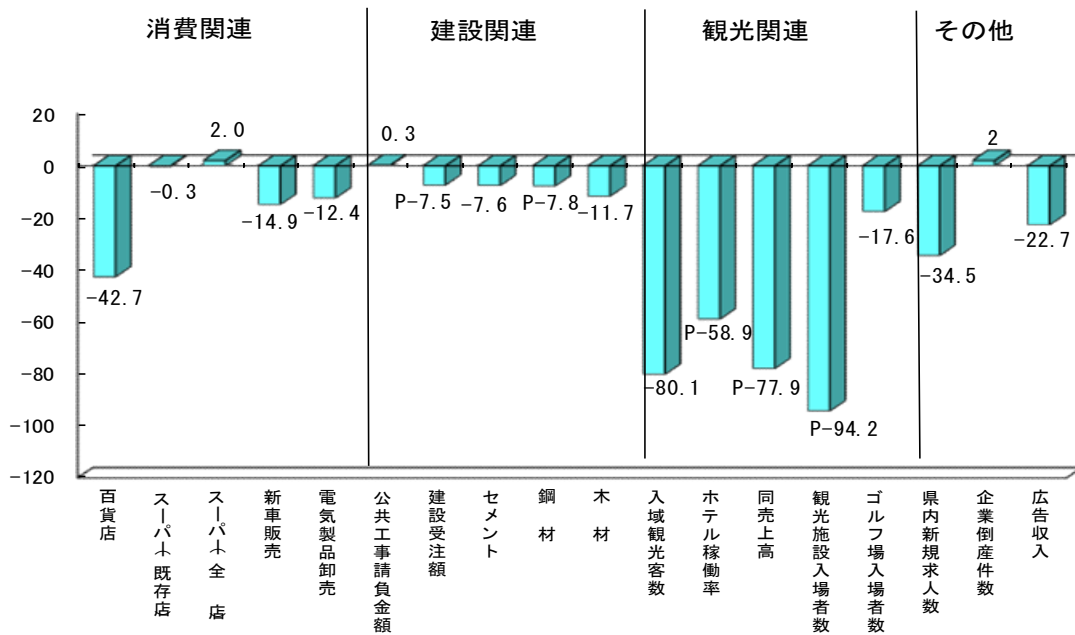
(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2019年8月より調査先を25ホテルから28ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

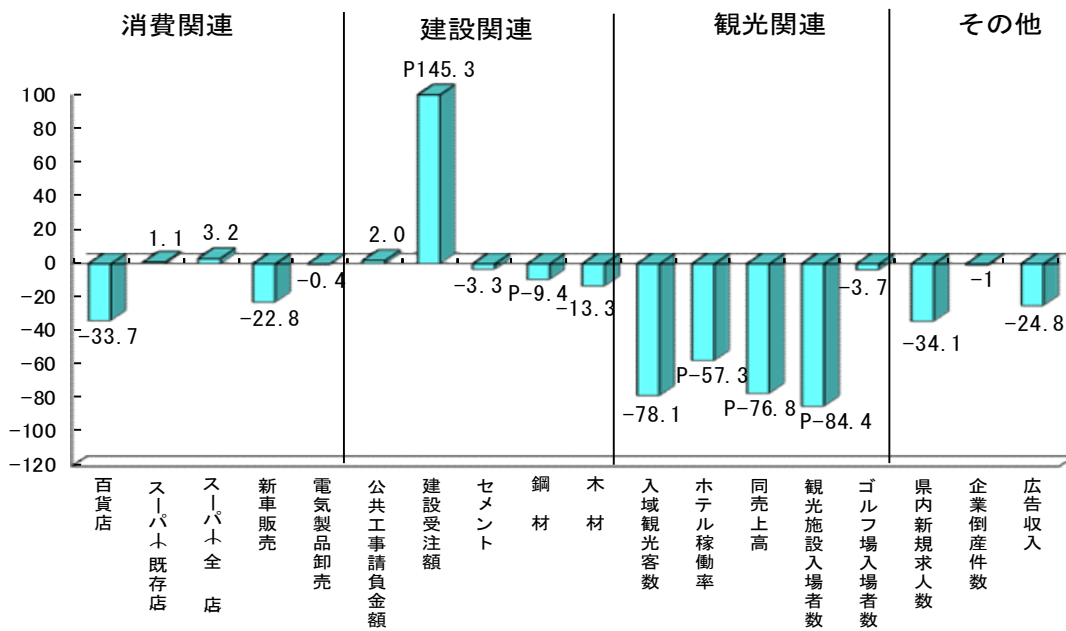
(注6) 建設受注額は、2018年2月より調査先を19社から18社とした。

項目別グラフ(単月、2020年8月)



(注) 広告収入は20年7月分。数値は前年比 (%)。Pは速報値。
 ホテル稼働率 (%ポイント)、企業倒産件数 (件) は前年差。Pは速報値。

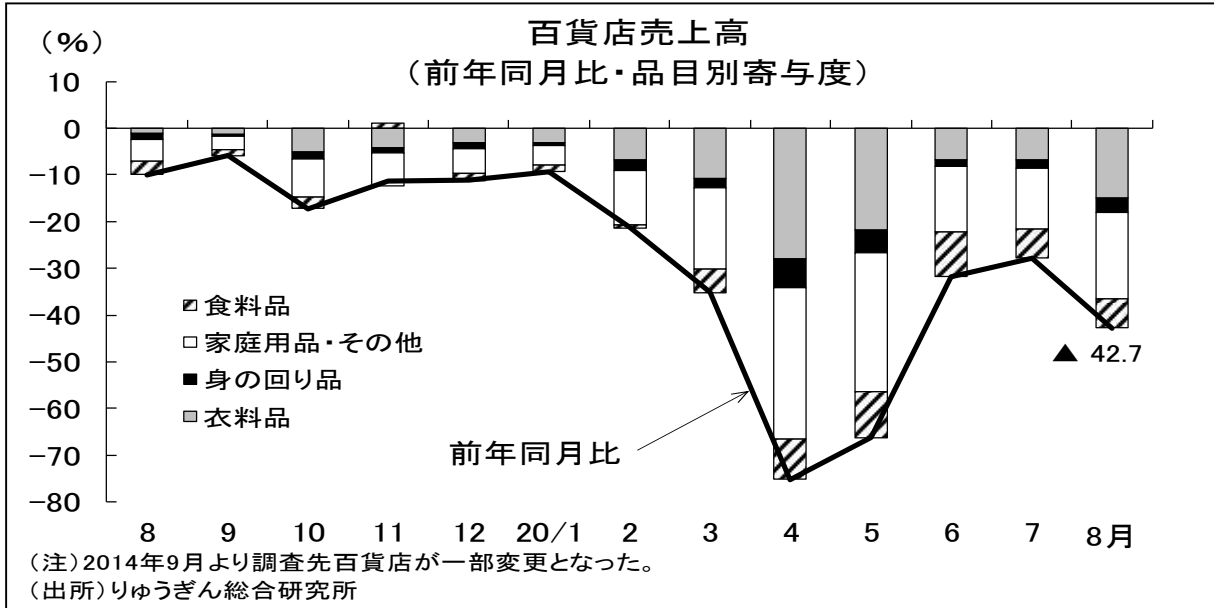
項目別グラフ(3カ月、2020年6月～2020年8月)



(注) 広告収入は20年5月～20年7月分。数値は前年比 (%)。
 ホテル稼働率 (%ポイント) は前年差。企業倒産件数 (件) は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

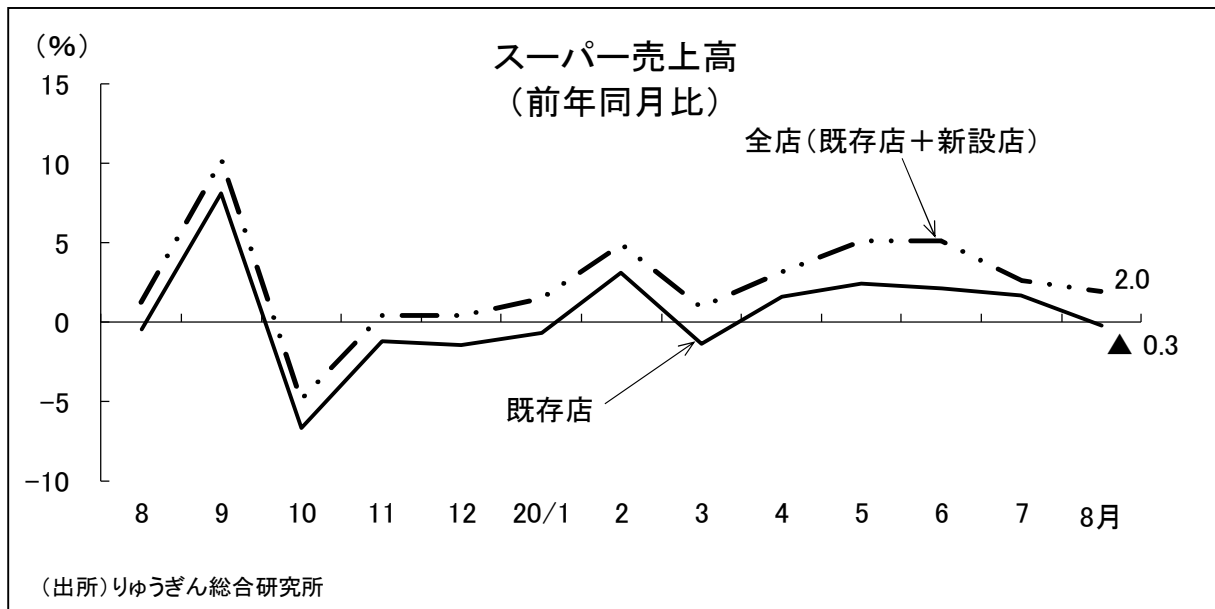
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：15カ月連続で減少



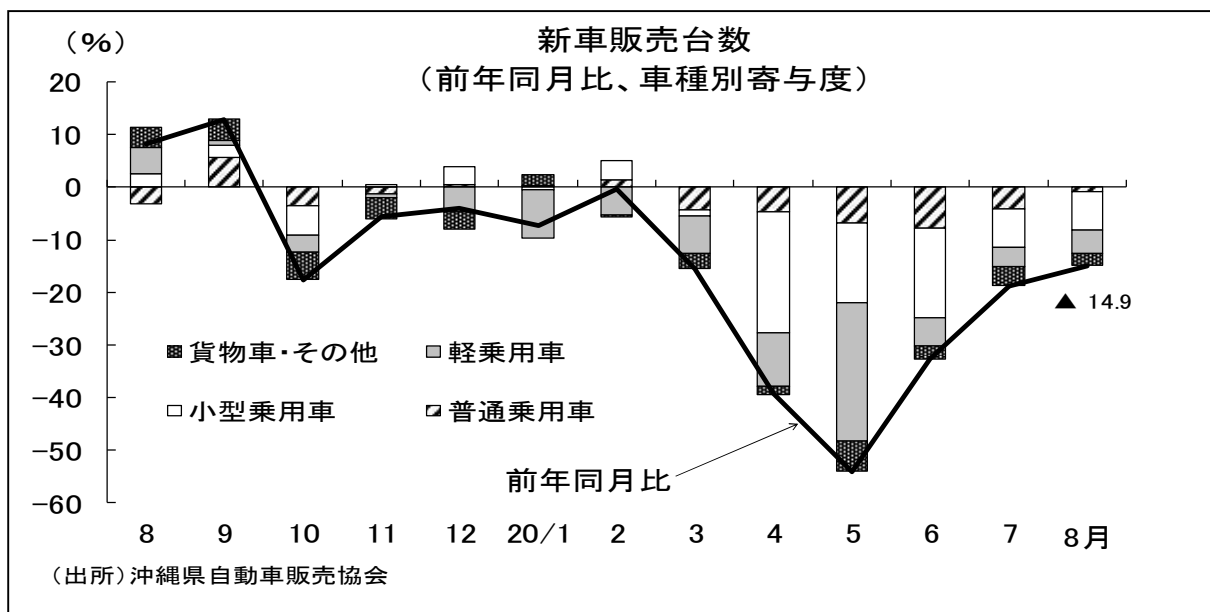
- 百貨店売上高は、前年同月比 42.7%減と 15 カ月連続で前年を下回った。中元ギフトの特需が一部でみられたものの、新型コロナウイルス感染再拡大による県独自の緊急事態宣言発令による消費マインドの低下が再びみられた。また、台風接近などによる悪天候の影響などで、来店客が減少し、すべての品目で減少幅が拡大した。
- 品目別にみると、食料品 (同 21.6%減)、衣料品 (同 52.3%減)、身の回り品 (同 46.4%減)、家庭用品・その他 (同 50.8%減) が減少した。

(2) スーパー売上高：全店ベースは 10カ月連続で増加



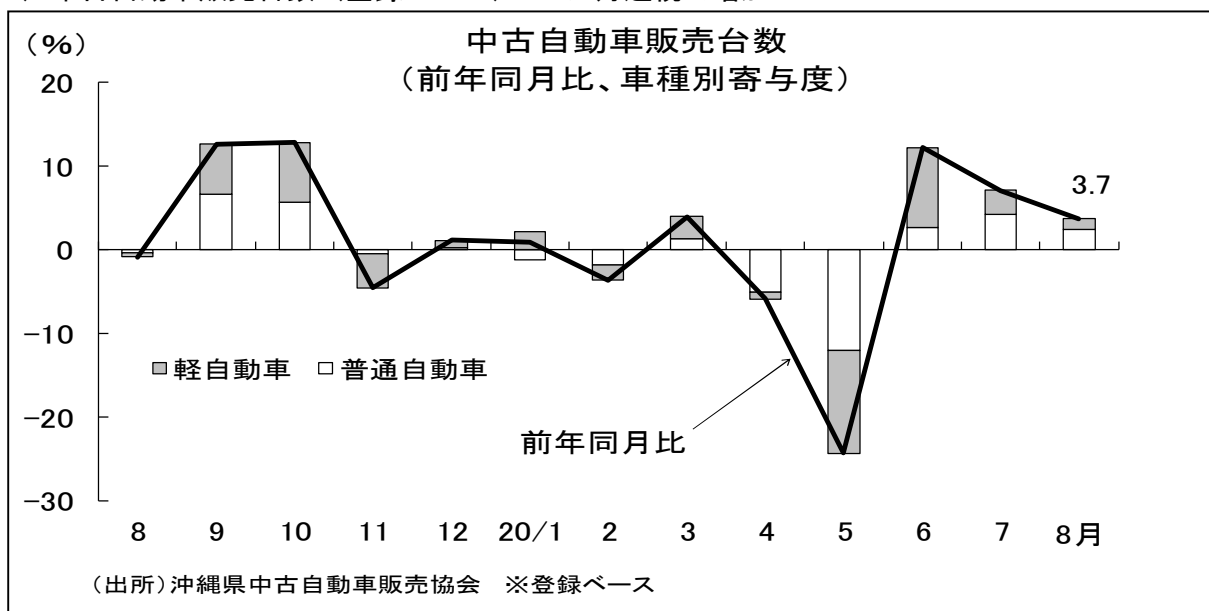
- スーパー売上高は、既存店ベースでは、前年同月比 0.3%減と 5カ月ぶりに前年を下回った。
- 食料品は、巣ごもり需要や台風接近の影響などで、生鮮食品やインスタント食品などが好調に推移し、同 3.5%増となった。一方で、県独自の緊急事態宣言発令に伴い消費マインドが低下したことなどから、衣料品は同 37.8%減となり、住居関連は同 5.9%減となった。
- 全店ベースでは、同 2.0%増と 10カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：11カ月連続で減少



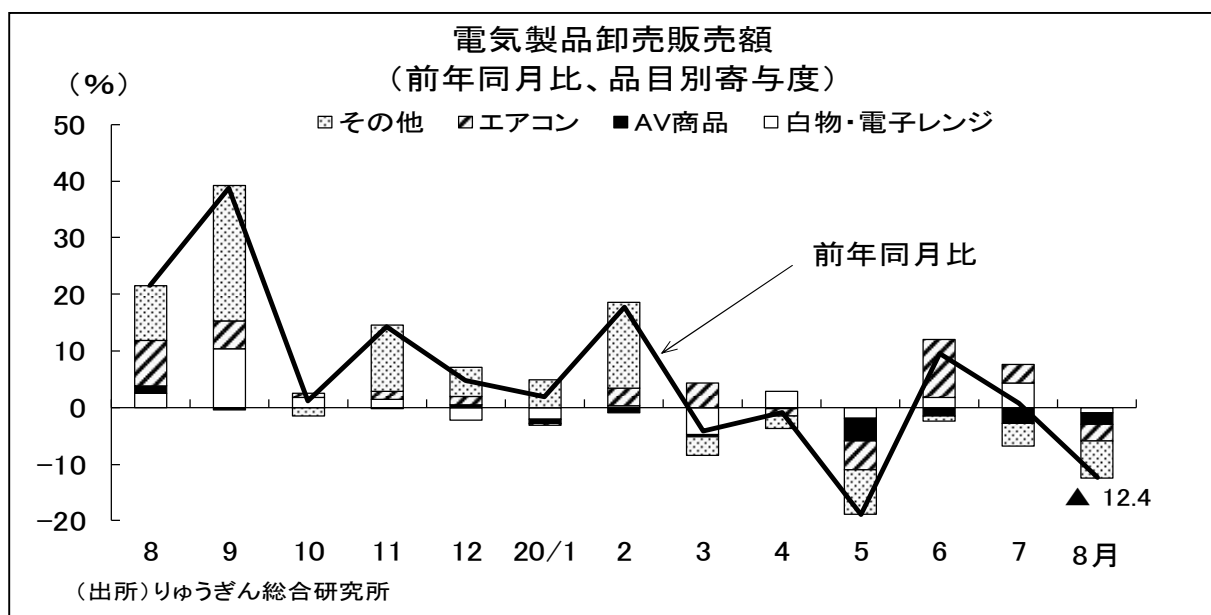
- ・新車販売台数は3,347台となり、前年同月比14.9%減と11カ月連続で前年を下回った。自家用車需要が回復基調となったが、新型コロナウイルスの影響によりレンタカー需要は低下、乗用車は普通・小型・軽のすべてで減少し、前年を下回った。
- ・普通自動車(登録車)は1,427台(同22.5%減)で、うち普通乗用車は525台(同6.3%減)、小型乗用車は718台(同28.4%減)であった。軽自動車(届出車)は1,920台(同8.3%減)で、うち軽乗用車は1,523台(同10.4%減)であった。

(4) 中古自動車販売台数(登録ベース)：3カ月連続で増加



- ・中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は1万9,362台で前年同月比3.7%増と、3カ月連続で前年を上回った。
- ・内訳では、普通自動車は7,899台(同6.0%増)、軽自動車は11,463台(同2.2%増)となった。

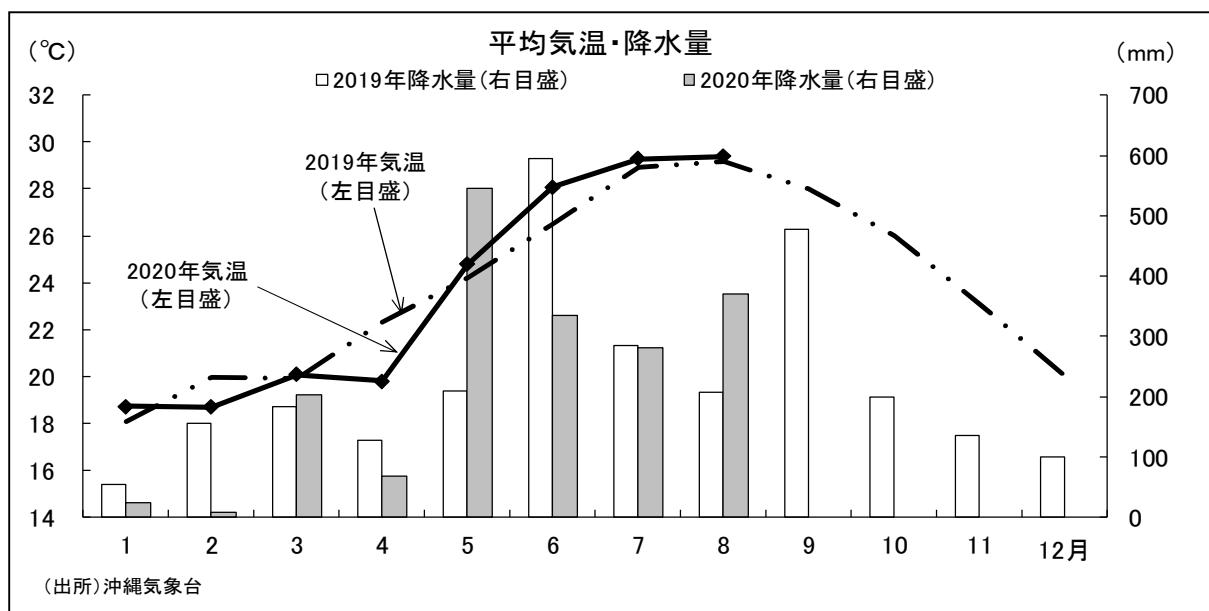
(5) 電気製品卸売販売額：3カ月ぶりに減少



- ・電気製品卸売販売額は、巣ごもり需要が堅調に推移していることから冷蔵庫は増加するも、供給不足などによりエアコンや洗濯機、AV商品などが減少したことから、前年同月比12.4%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではBDレコーダーが同39.8%減、テレビが同9.0%減、白物では洗濯機が同21.5%減、冷蔵庫が同11.6%増、エアコンが同12.8%減、その他は同16.5%減となった。

(参考)

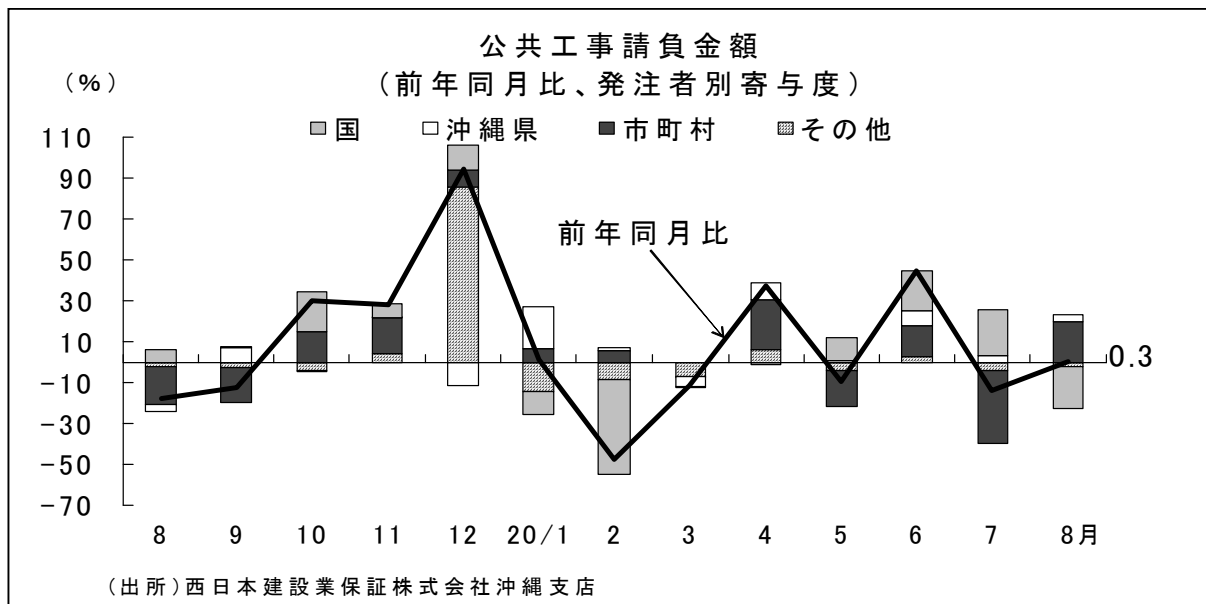
◇ 気象:平均気温・降水量 (那覇)



- ・平均気温は29.4℃となり、前年同月(29.2℃)、平年(28.7℃)より高かった。降水量は370.0mmで前年同月(208.0mm)より多かった。
- ・太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、台風や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、沖縄本島と八重山地方では大荒れの天気となる日があった。平均気温は平年より高く、降水量は多く、日照時間は少なかった。

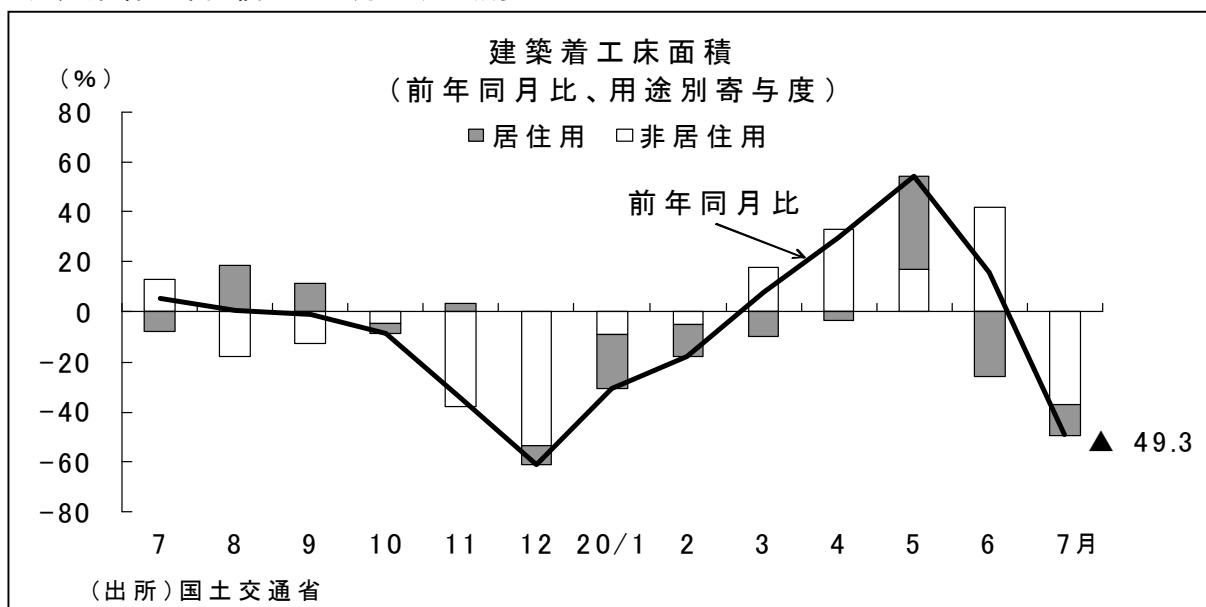
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月ぶりに増加



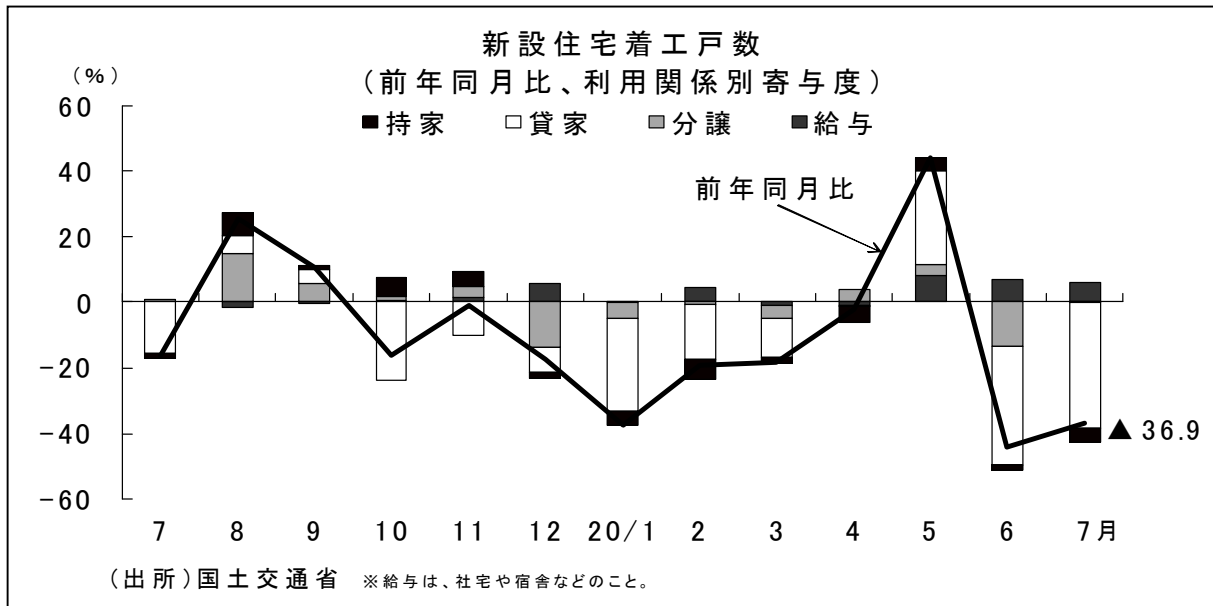
- 公共工事請負金額は、303億3,370万円、国、独立行政法人等・その他は減少したが、県、市町村は増加したことから、前年同月比0.3%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。
- 発注者別では、県(同15.0%増)、市町村(同70.5%増)は増加し、国(同42.3%減)、独立行政法人等・その他(同55.7%減)は減少した。

(2) 建築着工床面積：5カ月ぶりに減少



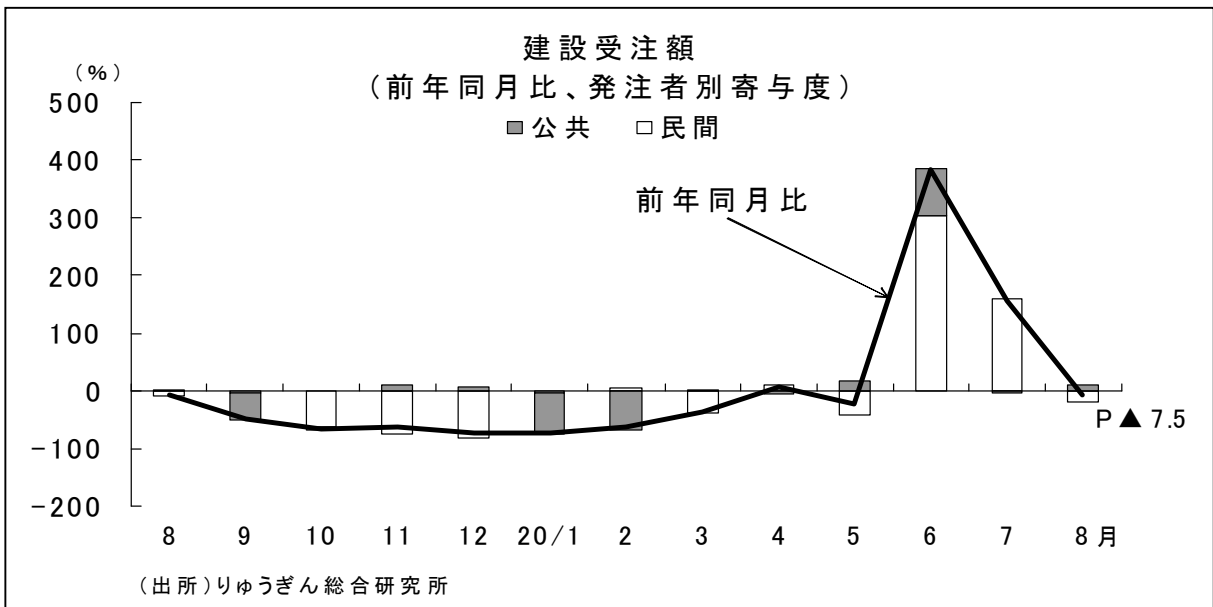
- 建築着工床面積(7月)は12万5,765㎡となり、居住用、非居住用ともに減少したことから前年同月比49.3%減と5カ月ぶりに前年を下回った。用途別では、居住用は同31.8%減となり、非居住用は同60.4%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに減少した。非居住用では、農林水産業用などが増加し、飲食店・宿泊業用や運輸業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で減少



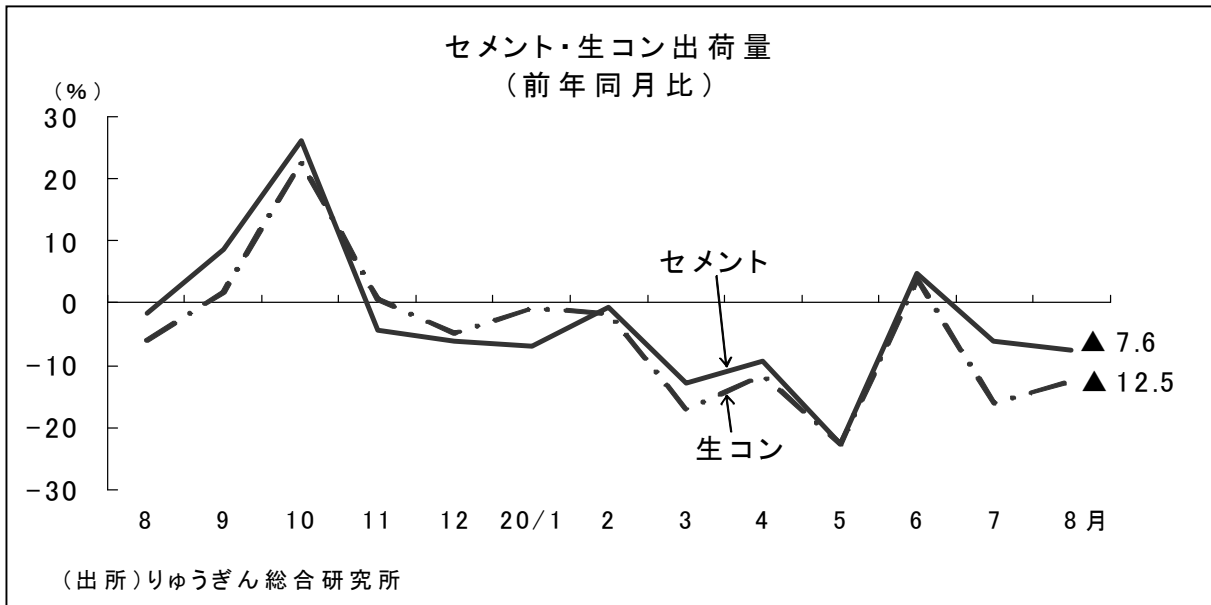
- ・新設住宅着工戸数（7月）は896戸となり、給与は増加したが、持家、貸家、分譲は減少したことから前年同月比36.9%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・利用関係別では、給与（83戸）が全増と増加し、持家（165戸）が同27.6%減、貸家（451戸）が同54.5%減、分譲（197戸）が同1.0%減と減少した。

(4) 建設受注額：3カ月ぶりに減少



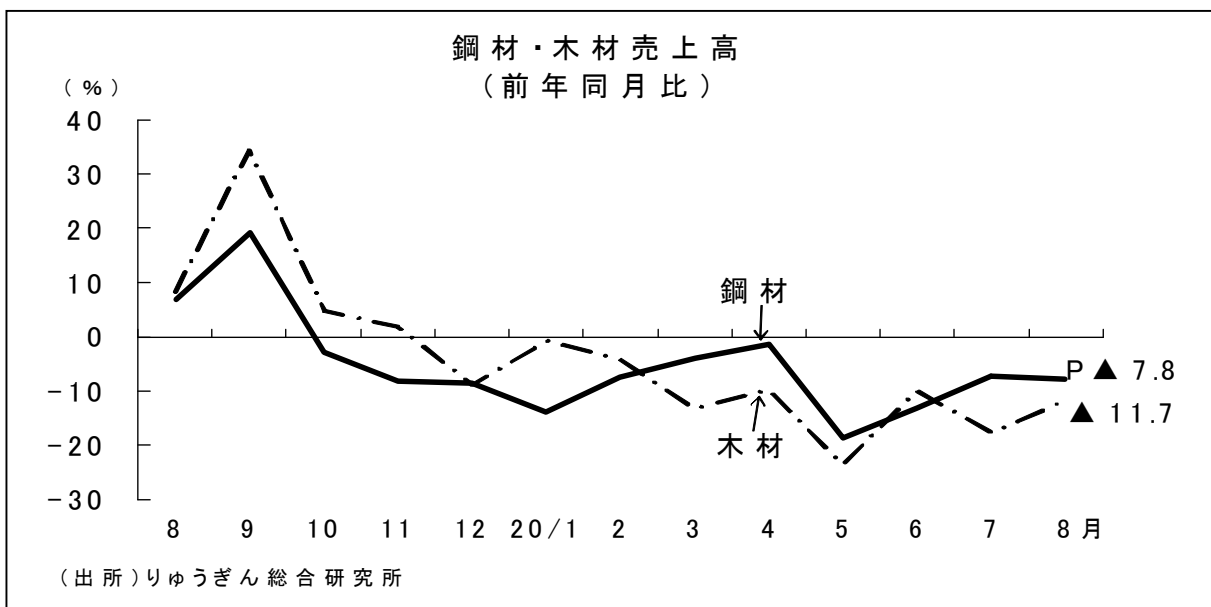
- ・建設受注額（調査先建設会社：18社、速報値）は、公共工事は増加したものの、民間工事は減少したことから、前年同月比7.5%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・発注者別では、公共工事（同25.3%増）は2カ月ぶりに増加し、民間工事（同32.4%減）は3カ月ぶりに減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは2カ月連続で減少、生コンは2カ月連続で減少



- ・セメント出荷量は7万3,893トンとなり、前年同月比7.6%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は11万6,341 m³で同12.5%減となり、2カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、防衛省向けなどが増加し、空港関連向けや学校関連向けなどが減少した。民間工事では、電力関連向けなどが増加し、医療関連向けや貸家向けなどが減少した。

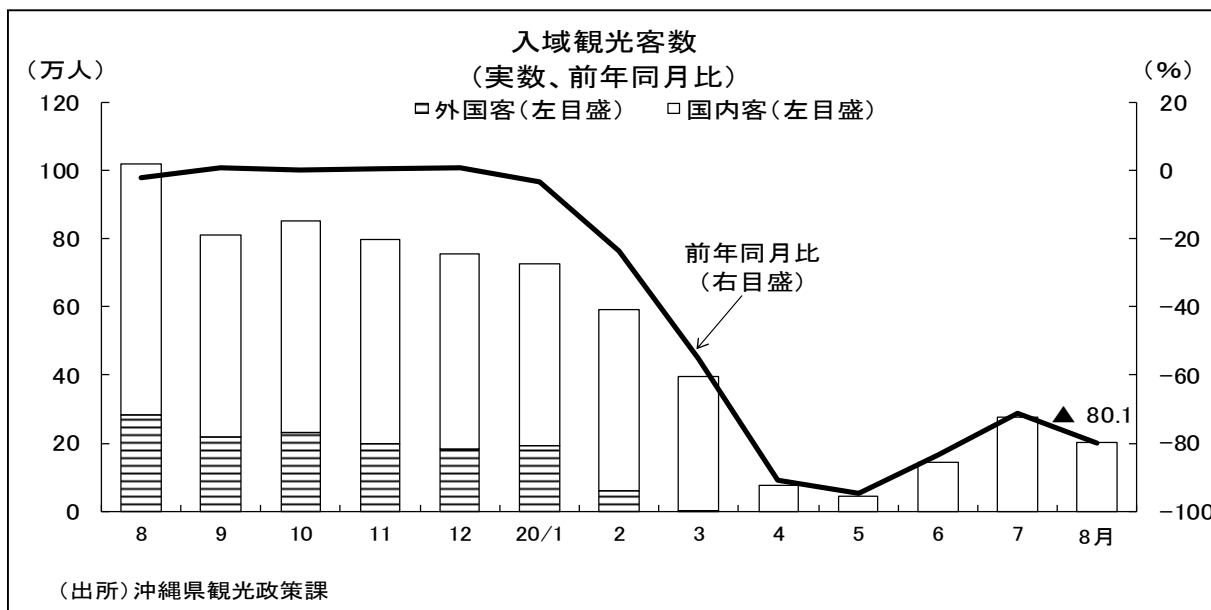
(6) 鋼材・木材：鋼材は11カ月連続で減少、木材は9カ月連続で減少



- ・鋼材売上高（速報値）は、単価の低下などから前年同月比7.8%減と11カ月連続で前年を下回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向けの出荷が減少したことなどから同11.7%減と9カ月連続で前年を下回った。

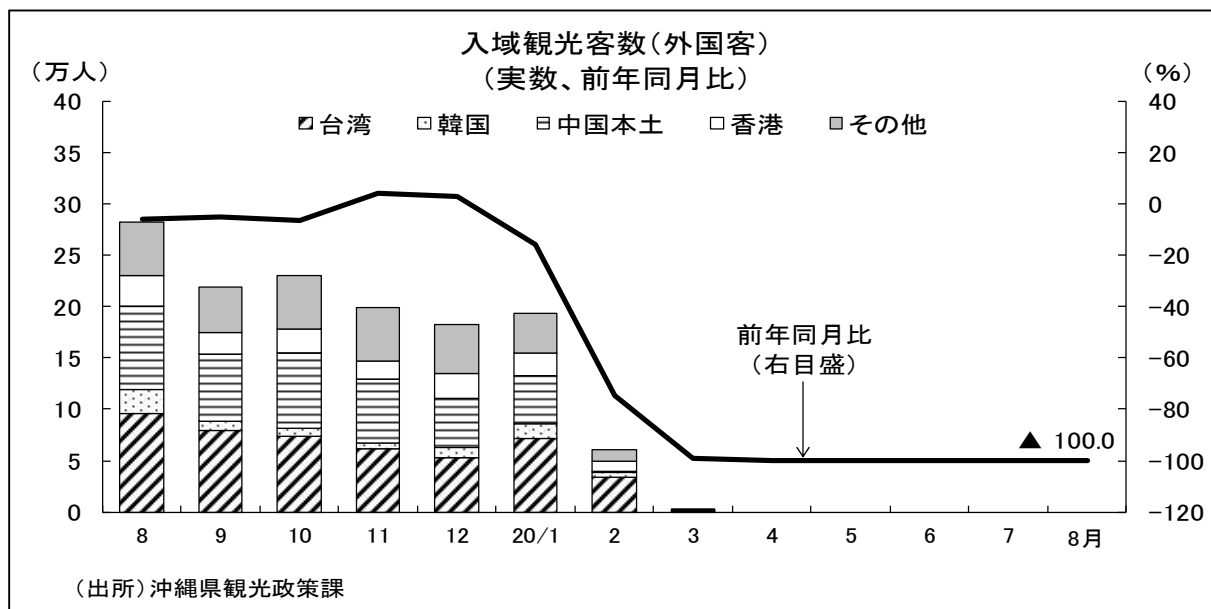
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：8カ月連続で前年を下回る



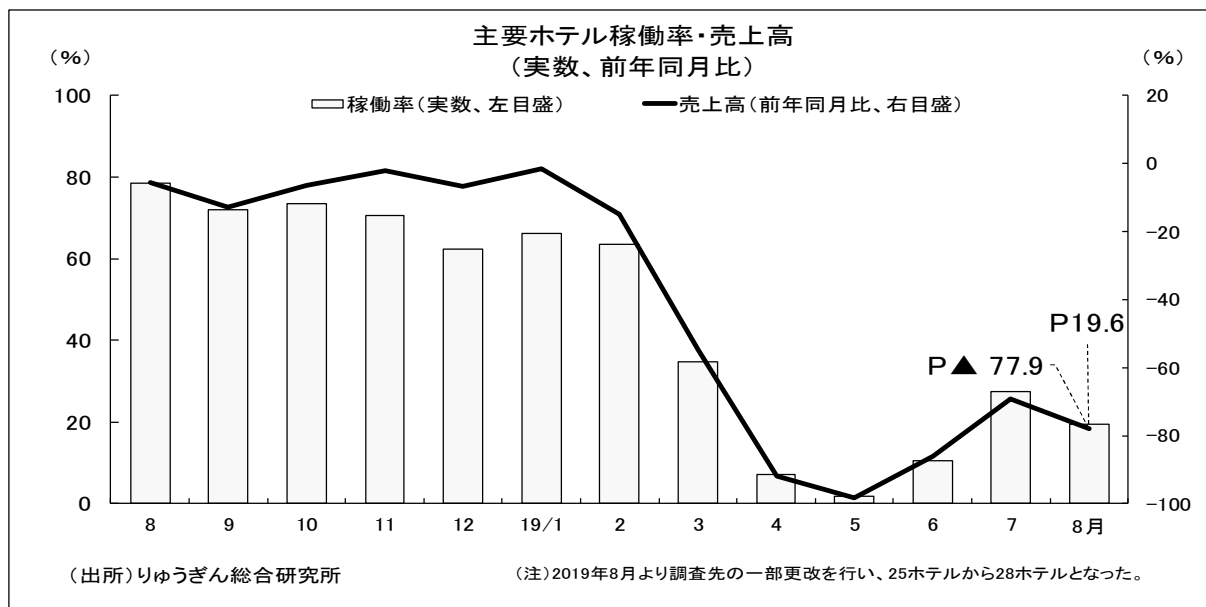
- ・入域観光客数は、20万2,800人（前年同月比80.1%減）となり、8カ月連続で前年を下回った。
- ・路線別では、空路は20万2,300人（同77.2%減）となり13カ月連続で前年を下回った。海路は500人（同99.6%減）となり8カ月連続で前年を下回った。
- ・国内客は、20万2,800人（同72.5%減）となり、7カ月連続で前年を下回った。
- ・7月下旬から県内の新型コロナウイルス感染症が急拡大したことや、8月1日に県独自の緊急事態宣言が発令されたことから観光客数は減少し、8月の減少幅は再び拡大した。

(2) 入域観光客数（外国客）：8カ月連続で前年を下回る



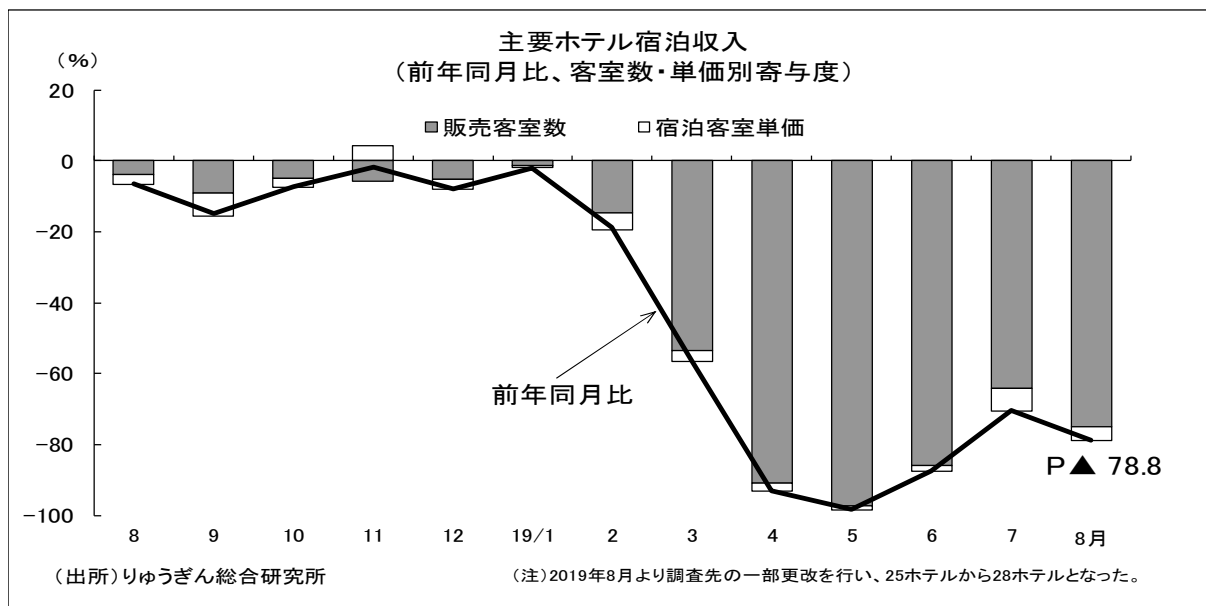
- ・入域観光客数（外国客）は、0人（前年同月比全減）となり、8カ月連続で前年を下回った。
- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、県内を発着する航空便およびクルーズ船がすべて欠航となったことから、4月以降5カ月連続で全減となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は13カ月連続で低下、売上高は15カ月連続で減少



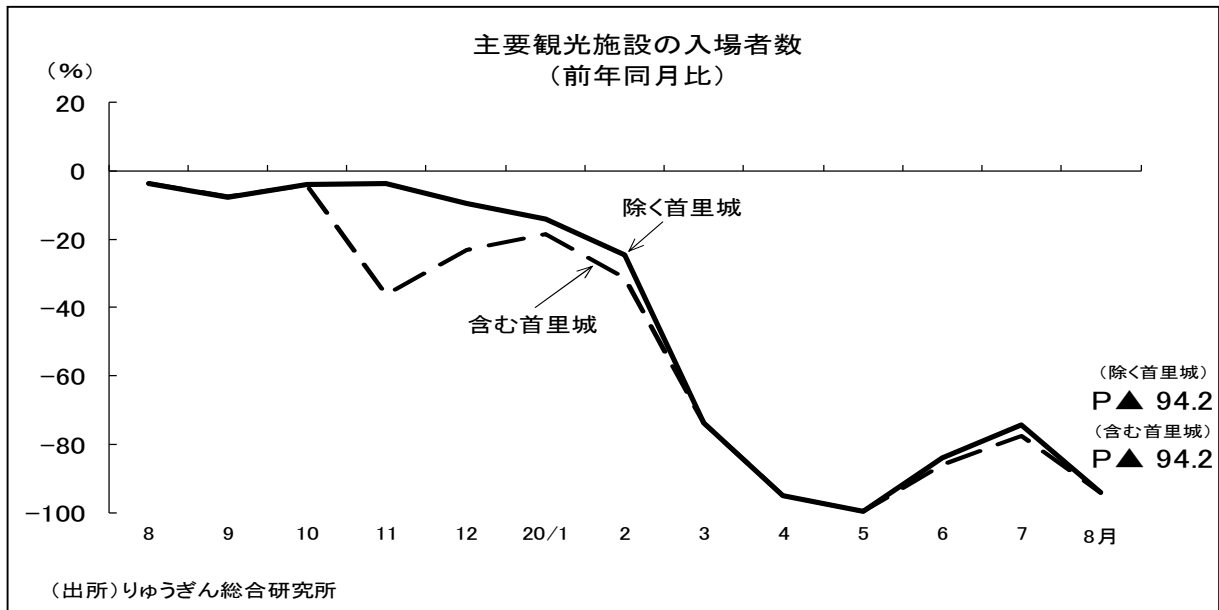
- ・主要ホテル（速報値）は、客室稼働率は19.6%となり、前年同月差58.9%ポイント低下して13カ月連続で前年を下回った。売上高は同77.9%減と15カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテル（速報値）は、客室稼働率は19.3%と同62.4%ポイント低下して13カ月連続で前年を下回り、売上高は同81.2%減と9カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は19.7%と同57.5%ポイント低下して7カ月連続で前年を下回り、売上高は同77.4%減と15カ月連続で前年を下回った。
- ・7月下旬から県内の新型コロナウイルス感染症が急拡大したことや、8月1日に県独自の緊急事態宣言が発令されたことから観光客数は減少し、8月の減少幅は再び拡大した。

(4) 主要ホテル宿泊収入：14カ月連続で減少



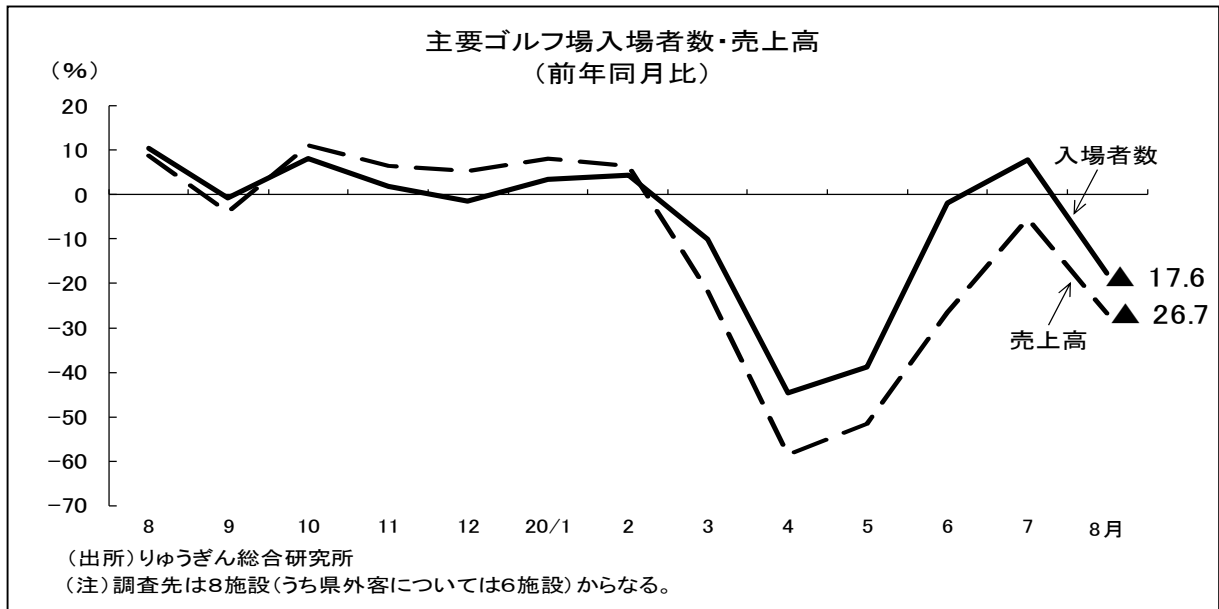
- ・主要ホテル売上高（速報値）のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）、宿泊客室単価（価格要因）ともに低下し、前年同月比78.8%減と14カ月連続で前年を下回った。
- ・那覇市内ホテル（速報値）は、販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同82.8%減と9カ月連続で前年を下回った。リゾート型ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに低下し、同78.2%減と7カ月連続で前年を下回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：13カ月連続で減少



- ・主要観光施設の入場者数（除く首里城、速報値）は、前年同月比 94.2%減となり、13 カ月連続で前年を下回った。
- ・首里城を含むベースは、同 94.2%減となり、13 カ月連続で前年を下回った。
- ・8月1日に県独自の緊急事態宣言が発令されて臨時休業した施設もあり、8月の減少幅は再び拡大した。

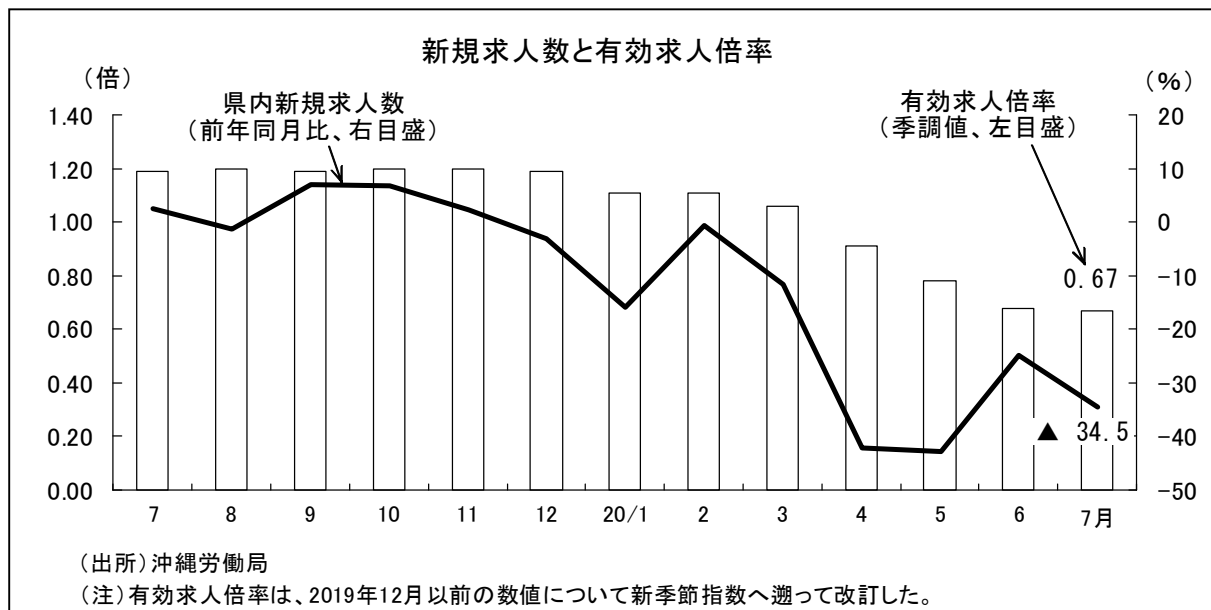
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに減少



- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 17.6%減と 2 カ月ぶりに前年を下回った。県内客は 2 カ月ぶりに前年を下回り、県外客は 12 カ月連続で前年を下回った。
- ・売上高は同 26.7%減と 6 カ月連続で前年を下回った。
- ・8月は県独自の緊急事態宣言が発令されたことから、入場者数は再び減少した。売上高は、減少幅が再び拡大した。

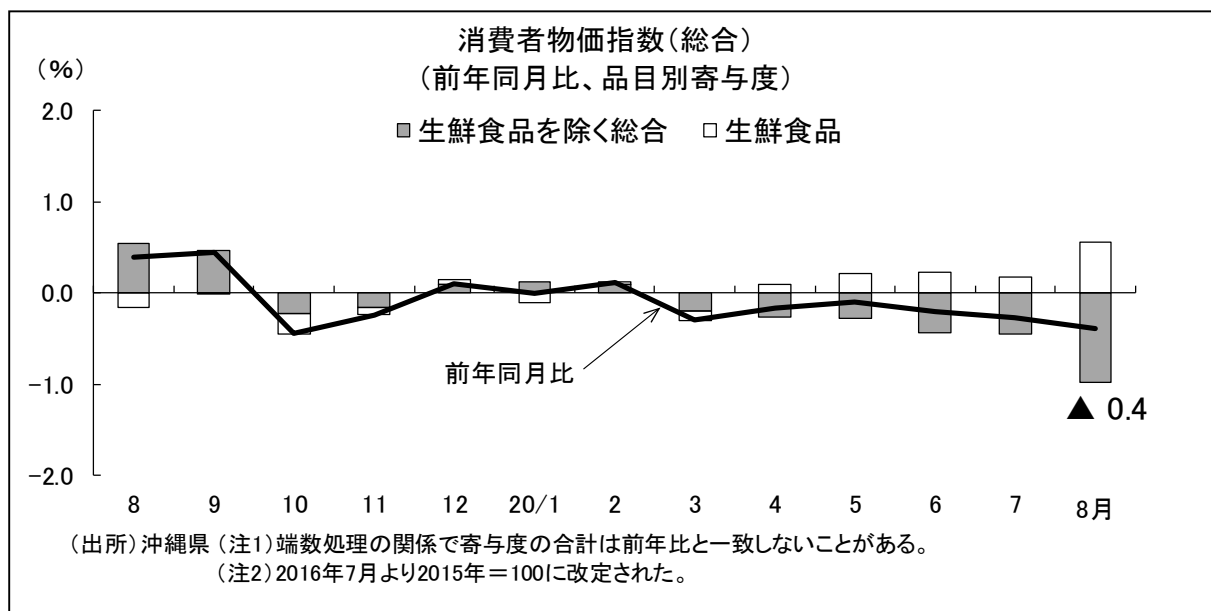
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は低下



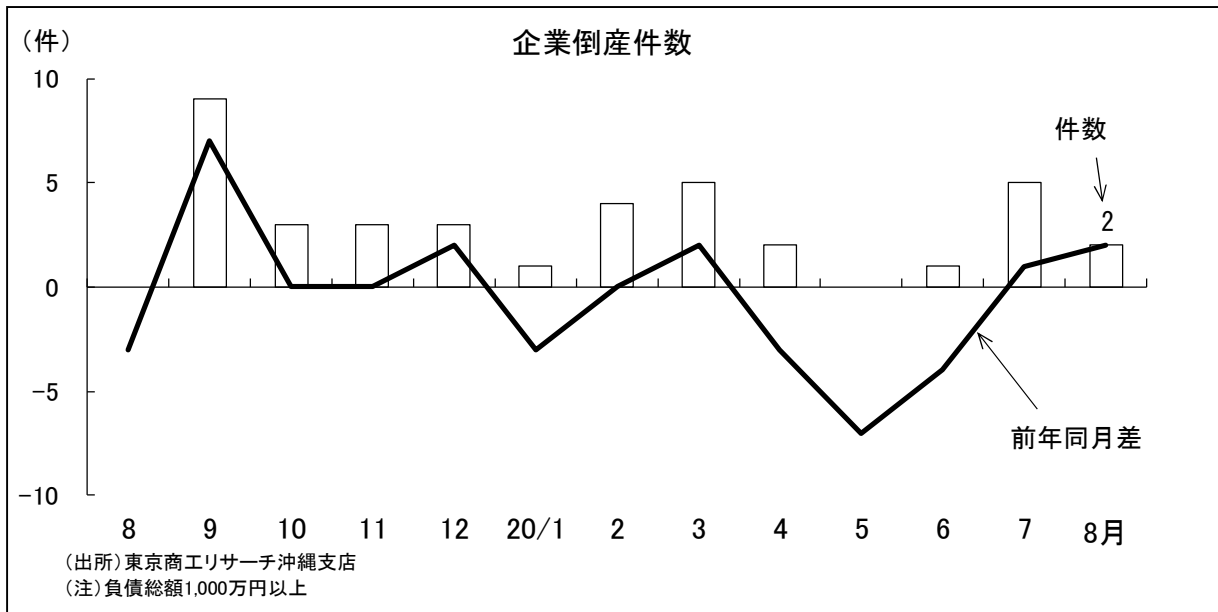
- ・新規求人数（7月）は、前年同月比 34.5%減となり 8 カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、宿泊業・飲食サービス業、サービス業、情報通信業などで減少した。有効求人倍率（季調値、7月）は 0.67 倍と、前月より 0.01 ポイント低下した。
- ・労働力人口（7月）は、74 万 9,000 人で同 0.4%減となり、就業者数は、72 万 5,000 人で同 1.0%減となった。完全失業者数は 2 万 4,000 人で同 14.3%増となり、完全失業率（季調値、7月）は 3.3%と、前月と同水準だった。

(2) 消費者物価指数：6 カ月連続で下落



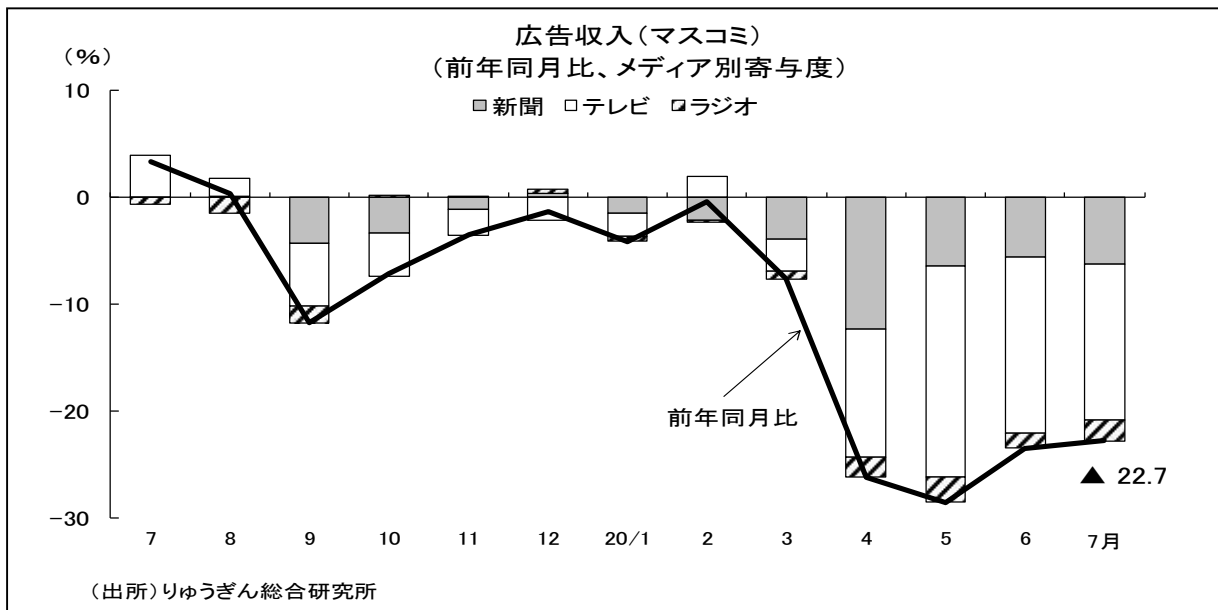
- ・消費者物価指数は、前年同月比 0.4%減と 6 カ月連続で前年を下回った。生鮮食品を除く総合は同 1.0%減と前年を下回った。
- ・品目別の動きをみると、諸雑費、光熱・水道などは下落し、食料などは上昇した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに増加



- ・倒産件数は、2件で前年同月を2件上回った。業種別では、卸売業2件（同2件増）となった。
- ・負債総額は、1億8,200万円となり、前年同月比で全増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：11カ月連続で減少



- ・広告収入（マスコミ：7月）は、前年同月比22.7%減と11カ月連続で前年を下回った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大で、イベント等の中止が相次いだことから大幅な減少が続いた。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2017	2.7	1.4	2.1	▲ 1.5	2.1	2.8	351,069	5.1	2,249	7.0
2018	1.9	▲ 0.6	1.7	▲ 4.5	5.9	▲ 0.7	346,669	▲ 1.3	2,293	1.9
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	11.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2019 7	▲ 3.1	▲ 0.1	2.4	23.8	▲ 6.6	17.6	51,900	94.2	248	5.5
8	▲ 10.0	▲ 0.5	1.3	21.5	8.2	▲ 0.9	30,231	▲ 17.8	184	0.6
9	▲ 5.9	8.1	10.2	38.8	12.0	12.6	32,533	▲ 12.5	195	▲ 1.1
10	▲ 17.2	▲ 6.7	▲ 4.9	1.1	▲ 17.7	12.8	26,687	29.8	164	▲ 8.6
11	▲ 11.3	▲ 1.2	0.4	14.3	▲ 5.6	▲ 4.5	20,544	28.2	136	▲ 34.5
12	▲ 11.2	▲ 1.4	0.4	4.8	▲ 4.0	1.1	22,615	94.7	137	▲ 61.2
2020 1	▲ 9.3	▲ 0.7	1.5	1.9	▲ 7.3	0.9	15,144	1.3	85	▲ 30.7
2	▲ 21.3	3.1	4.9	17.7	▲ 0.5	▲ 3.7	14,601	▲ 47.5	113	▲ 17.7
3	▲ 35.2	▲ 1.4	0.9	▲ 4.1	▲ 15.5	3.9	35,684	▲ 11.7	175	8.0
4	▲ 75.1	1.6	3.2	▲ 0.9	▲ 39.3	▲ 5.9	23,377	37.2	176	30.0
5	▲ 66.2	2.5	5.2	▲ 18.9	▲ 54.0	▲ 24.3	19,042	▲ 9.5	136	54.2
6	▲ 31.7	2.1	5.1	9.5	▲ 32.7	12.2	29,970	44.5	161	16.1
7	▲ 27.9	1.7	2.6	0.8	▲ 18.7	7.1	44,577	▲ 14.1	126	▲ 49.3
8	▲ 42.7	▲ 0.3	2.0	▲ 12.4	▲ 14.9	3.7	30,333	0.3	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2017	16,591	2.4	▲ 8.2	11.3	9.5	26.4	1.7	3.6	3.2	0.1
2018	16,803	1.3	10.6	▲ 1.8	▲ 4.2	2.7	10.6	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 2.4
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 12.5	0.3	1.4	4.0	7.2	0.9	▲ 0.2	▲ 2.2
2019 7	1,419	▲ 16.0	▲ 59.5	25.7	17.9	22.5	15.9	9.2	10.8	3.3
8	1,683	25.5	▲ 7.9	▲ 1.6	▲ 6.0	6.9	8.3	▲ 3.6	10.4	0.3
9	1,640	10.7	▲ 50.1	8.7	1.7	19.3	34.4	▲ 7.8	▲ 0.8	▲ 11.7
10	1,245	▲ 16.2	▲ 66.7	26.1	22.6	▲ 2.8	4.7	▲ 4.1	8.1	▲ 7.2
11	1,130	▲ 0.8	▲ 63.0	▲ 4.3	0.7	▲ 8.3	1.8	▲ 3.6	1.7	▲ 3.5
12	1,244	▲ 17.5	▲ 74.3	▲ 6.1	▲ 4.8	▲ 8.6	▲ 8.9	▲ 9.6	▲ 1.3	▲ 1.4
2020 1	670	▲ 37.4	▲ 74.0	▲ 6.9	▲ 0.9	▲ 14.0	▲ 0.8	▲ 14.1	3.5	▲ 4.1
2	884	▲ 19.1	▲ 63.1	▲ 0.7	▲ 1.6	▲ 7.5	▲ 4.3	▲ 24.5	4.4	▲ 0.4
3	1,094	▲ 18.4	▲ 36.3	▲ 12.8	▲ 17.0	▲ 4.0	▲ 13.3	▲ 73.7	▲ 10.1	▲ 7.6
4	1,129	▲ 2.1	6.9	▲ 9.3	▲ 11.6	▲ 1.3	▲ 9.8	▲ 94.9	▲ 44.6	▲ 26.2
5	1,019	44.1	▲ 23.6	▲ 22.7	▲ 22.6	▲ 18.7	▲ 23.6	▲ 99.6	▲ 38.8	▲ 28.5
6	767	▲ 44.2	384.8	4.8	3.8	▲ 13.2	▲ 10.0	▲ 83.8	▲ 1.8	▲ 23.4
7	896	▲ 36.9	P156.0	▲ 6.1	▲ 16.0	P▲ 7.3	▲ 17.7	P▲ 74.4	7.8	▲ 22.7
8	-	-	P▲ 7.5	▲ 7.6	▲ 12.5	P▲ 7.8	▲ 11.7	P▲ 94.2	▲ 17.6	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2018年2月より調査先を19社から18社とした。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		鉱工業生産指数 (季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2017	9,396.2	9.1	2,542.2	22.1	83.3	74.3	0.7	1.1	92.4	5.5
2018	9,847.7	4.8	2,903.8	14.2	81.2	71.9	▲ 0.3	▲ 2.3	90.0	▲ 2.6
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	81.4	69.7	▲ 1.0	▲ 3.0	87.1	▲ 3.2
2019 7	963.3	8.8	302.8	4.1	81.0	75.1	▲ 1.0	▲ 0.4	91.7	8.2
8	1,021.2	▲ 1.9	282.9	▲ 5.7	81.6	77.2	▲ 1.2	▲ 6.2	85.6	▲ 9.0
9	809.3	1.0	218.7	▲ 5.1	79.2	69.0	▲ 15.9	▲ 12.1	85.8	▲ 3.7
10	851.3	0.2	230.5	▲ 6.5	77.9	71.5	▲ 8.2	▲ 6.0	85.6	1.2
11	799.2	0.5	199.1	4.2	79.6	66.7	0.7	▲ 3.2	80.1	▲ 5.8
12	755.1	1.0	182.4	2.9	76.8	56.4	▲ 8.0	▲ 6.4	76.9	▲ 8.1
2020 1	727.8	▲ 3.4	193.5	▲ 15.8	78.0	61.3	▲ 4.5	▲ 0.4	83.9	▲ 5.7
2	590.9	▲ 23.5	61.0	▲ 74.6	71.2	62.6	▲ 17.6	▲ 13.6	92.0	4.1
3	396.3	▲ 55.2	2.4	▲ 98.9	35.9	34.3	▲ 57.6	▲ 53.5	75.7	▲ 13.3
4	77.3	▲ 90.9	0.0	▲ 100.0	8.2	6.6	▲ 89.4	▲ 92.4	70.7	▲ 18.4
5	44.0	▲ 94.7	0.0	▲ 100.0	3.4	1.3	▲ 96.9	▲ 98.6	67.9	▲ 26.8
6	144.1	▲ 83.4	0.0	▲ 100.0	8.3	11.3	▲ 88.7	▲ 85.5	73.3	▲ 15.0
7	277.3	▲ 71.2	0.0	▲ 100.0	24.0	29.1	▲ 75.9	▲ 68.1	-	-
8	202.8	▲ 80.1	0.0	▲ 100.0	P19.3	19.7	P▲ 81.2	▲ 77.4	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2019年8月より調査先が25ホテルから28ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新規 求人数 (県内)	通関 輸出	通関 輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2017	51	6,223	20.6	0.5	3.8	1.8	1.11	6.6	32,347	194,709
2018	44	12,416	99.5	0.9	3.4	2.3	1.17	2.1	29,105	175,054
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.19	2.8	30,908	148,516
2019 7	4	190	▲ 96.7	0.6	2.9	4.9	1.19	2.7	984	12,990
8	0	0	▲ 100.0	0.4	3.0	3.1	1.20	▲ 1.2	1,000	8,740
9	9	1,045	152.4	0.4	3.0	4.9	1.19	7.1	1,120	7,686
10	3	86	▲ 85.8	▲ 0.4	2.6	4.6	1.20	6.9	9,059	12,962
11	3	660	1,078.6	▲ 0.2	2.5	▲ 0.1	1.20	2.4	1,167	9,406
12	3	318	3,080.0	0.1	2.9	0.8	1.19	▲ 3.1	1,505	21,871
2020 1	1	30	▲ 94.6	0.0	3.4	1.5	1.11	▲ 15.8	927	13,567
2	4	530	▲ 25.1	0.1	3.2	1.5	1.11	▲ 0.6	3,199	8,379
3	5	897	715.5	▲ 0.3	2.9	0.1	1.06	▲ 11.4	1,499	13,356
4	2	30	▲ 96.4	▲ 0.2	3.5	▲ 0.1	0.91	▲ 42.0	12,207	11,381
5	0	0	▲ 100.0	▲ 0.1	3.2	0.1	0.78	▲ 42.8	866	7,143
6	1	490	200.6	▲ 0.2	3.3	▲ 0.1	0.68	▲ 24.6	1,085	11,530
7	5	862	353.7	▲ 0.3	3.3	▲ 1.0	0.67	▲ 34.5	1,636	12,050
8	2	182	100.0	▲ 0.4	-	-	-	-	2,196	12,342
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2019年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2017FY	2,561	4,288	▲ 1,728	1.559	211	▲ 7.9	3,677	▲ 2.4	82	0.022
2018FY	2,511	4,092	▲ 1,582	1.506	201	▲ 4.7	3,599	▲ 2.1	24	0.007
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2019 7	195	385	▲ 189	1.476	18	▲ 4.5	341	▲ 8.8	0	0.000
8	187	360	▲ 172	1.474	15	▲ 17.1	242	▲ 27.7	0	0.000
9	176	353	▲ 176	1.475	17	18.7	297	14.5	0	0.000
10	233	374	▲ 141	1.472	16	▲ 16.2	265	▲ 18.3	0	0.000
11	148	308	▲ 159	1.471	14	▲ 15.5	210	▲ 24.2	0	0.000
12	540	134	405	1.465	16	7.0	288	14.3	0	0.000
2020 1	89	551	▲ 461	1.465	16	▲ 9.7	291	▲ 6.1	2	0.007
2	114	223	▲ 108	1.462	14	▲ 14.4	215	▲ 19.5	0	0.000
3	224	215	8	1.458	17	17.8	315	32.8	3	0.011
4	360	130	229	1.455	15	▲ 4.9	291	▲ 13.1	3	0.010
5	98	185	▲ 87	1.441	12	▲ 32.3	223	▲ 37.5	0	0.000
6	543	210	333	1.427	17	14.4	300	32.0	0	0.000
7	212	271	▲ 58	1.419	15	▲ 19.9	284	▲ 16.8	0	0.000
8	-	-	-	-	14	▲ 4.2	260	7.8	0	0.000
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預金残高 (未残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(未残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2017FY	47,488	4.1	36,762	6.0	47,533	5.1	8,491	3.6	1,173	▲ 2.3
2018FY	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2019 7	49,642	3.2	38,297	4.1	50,036	3.7	8,447	0.7	1,160	0.4
8	50,053	4.2	38,366	4.0	50,456	4.6	8,454	1.0	1,161	▲ 1.0
9	49,956	2.9	38,532	3.5	50,331	3.2	8,395	0.6	1,169	▲ 1.2
10	49,718	3.7	38,488	3.6	50,132	4.0	8,375	0.7	1,175	▲ 0.5
11	50,239	3.9	38,556	3.3	50,634	4.2	8,363	0.4	1,173	▲ 1.6
12	50,092	3.9	38,758	3.3	50,492	4.2	8,462	0.1	1,181	▲ 1.4
2020 1	49,516	3.8	38,818	3.2	49,939	4.0	8,460	▲ 0.1	1,182	▲ 0.9
2	49,804	3.8	38,935	2.9	50,212	4.2	8,450	▲ 0.2	1,183	▲ 0.5
3	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
4	51,610	4.7	39,068	2.8	52,012	4.7	8,877	3.8	1,350	14.9
5	52,787	7.1	39,387	3.2	53,209	7.1	9,272	9.0	1,488	28.6
6	54,208	8.4	39,584	3.5	54,629	8.4	9,718	14.9	1,783	54.0
7	54,155	9.1	39,788	3.9	54,653	9.2	9,966	18.0	2,025	74.6
8	54,764	9.4	39,955	4.1	-	-	-	-	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。